

誤用と研究不正 インパクトファクターの

教育関係共同利用拠点提供プログラム 高等教育論L101

インパクトファクター(IF)は、学術誌やそこに掲載された論文の格や優秀性を示す指標である、と思っている研究者は多い。しかし、その実体は、論文一本あたりの被引用回数である。IFがその本来の意味から離れ、論文や研究者の評価に誤って使われることで、科学者社会はどう変わったのか。研究不正を中心に再考する。

対象:教職員・大学院生・学部生・一般

IF



定員:40名
対面ONLY!



申込みはこちら

「科学者をまどわす魔法の数字、インパクト・ファクターの正体」著者

講演者 **麻生 一枝** (成蹊大学非常勤講師、サイエンスライター)

お茶の水女子大学理学部数学科卒業、オレゴン州立大学動物学科卒業、プエルトリコ大学海洋生物学修士、ハワイ大学にて動物学Ph.D.を取得その後、オハイオ州立大学ポスドク研究員、長浜バイオ大学准教授などを経て、現在サイエンスライター、成蹊大学非常勤講師。専門:動物行動生態学

2023.9.9 sat 10:30~12:30

東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター東棟4階大会議室

主催:東北大学高度教養教育・学生支援機構